

京都府立医科大学附属病院で中心性漿液性脈絡網膜症の検査を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

中心性漿液性脈絡網膜症に関する研究へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、中心性漿液性脈絡網膜症に関する研究「網脈絡膜画像および機能検査を用いた中心性漿液性脈絡網膜症の病態解析」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で中心性漿液性脈絡網膜症の検査を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

中心性漿液性脈絡網膜症は以前の研究から病変の首座は脈絡膜で、二次的に網膜が障害され網膜剥離が生じるという考えが現在では一般的となっています。しかしなぜ脈絡膜に異常が起こるかなど、詳細な発症のメカニズムは未だ解明されていません。近年、様々な網膜および脈絡膜の画像および機能検査機器が登場し、従来から行われてきた蛍光眼底造影検査では観察不可能であった網膜および脈絡膜の内部構造、または機能評価が可能となっています。本研究ではそれらの非侵襲的検査機器を用いて中心性漿液性脈絡網膜症の病態解析を進めることを目的としています。

研究の方法

・対象となる患者様について

平成23年4月1日から平成33年3月31日までの間に、京都府立医科大学眼科で30歳以上の中心性漿液性脈絡網膜症に対して検査を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

上記期間内に実施された網膜および脈絡膜の画像および機能解析検査の結果を解析します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成33年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了

承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学眼科 電話：075-251-5578
教授・外園 千恵
大学院生・寺尾 信宏